

II、活動の基本

高障連の規約第2条において、『障害をある者もない者も、市民として共に幸せに暮らせる社会の実現を願って、障害児者の社会参加と自立を進め、高槻市における障害者の権利と福祉を前進させる』目標をかかげています。

その実現のために連絡協議体である高障連は、次の2点を柱として活動します。

- (1) 情報交換と連絡協議を密にして、お互いに他の障害に対する理解とそれぞれの課題についての協力を求めます。
- (2) 共通課題や協力課題については、障害種別を超えて協力して取り組みます。

III、活動方針

2014年度の活動に向けて、交流・連携の強化とともに、当事者と家族の高齢化に対応する課題に取り組み、各団体の組織基盤の強化と諸課題の解決に向けて以下の取り組みを行なうことを提案します。

第4次高槻市障がい者長期行動計画の策定を中心に、地域における共生社会の実現に向け取り組みを行ないます。

【2】全体課題

(1) 国の施策に対して

障がい者制度改革に関する情報の入手、学習に務め、問題点を把握し、改善を求めます。

- ① 「地域フォーラム」を開催し、啓発活動を展開します。
- ② 「障害者権利条約」「差別解消法」の啓発と完全実施に取り組みます。
- ③ 「(自立支援法)つなぎ法」「障がい者総合支援法」等の改善に取り組みます。
- ④ 全国的な運動と連携した取り組みを行ないます。
- ⑤ 大阪障害フォーラム(ODF)との連携を図ります。

(2) 大阪府に対して

- ① 医療費制度(特に重度障害者医療費助成制度)の改悪に反対します。
- ② 精神障害者への医療費助成の拡大を求めます。

(3) 高槻市との統一交渉

年度の中期に実施し、予算措置できるよう課題解決を図ります。

(4) 高槻市障害者長期計画・障害福祉計画の策定・推進

「(仮)高槻市障がい者基本計画等策定連絡会議」の設置に対し、代表委員を派遣し、協議を行なう。

(5) 「高槻市差別解消支援地域協議会」の設置と、法に基づく地域ガイドラインの制定を求めます

(6) 高槻市自立支援協議会の早期再開を目指し、当事者・家族の参画の拡大を図り、地域の障害児者へのサポートの強化を図ります。

(7) 保健・医療

- ① 「高槻市健康づくり推進協議会」に参画し、障害者の健康づくりを推進します。
- ② 大阪府保健医療計画の推進を求めます。

(8) 発達障害啓発事業の実施

高槻市の委託事業により、発達障害についての啓発事業を受託しています。昨年度の講演会に引き続き、多くの関係者の意見を聞きながら、真に障害理解に繋がるテーマ設定を検討する中、事業を実施いたします。

(9) 障害者福祉センターの自主運営

- ① 福祉センターの運営に指定管理者制度を適用することなく、現行どおり直営で運営し、自主運営が保障されるよう求めていきます。
- ② 福祉活動の拠点となるだけでなく、障害のある者もない者も共に気軽に集えるセンターとするため、市民との交流が広がる取り組みを行ないます。
- ③ 「センター運営会議」の活性化に向け努力します。
- ④ センター事業推進委員会に各団体よりの参加を積極的に進めます。
- ⑤ センター事業推進委員会の実施事業への参加・協力を行ないます。
- ⑥ センターを日々利用・運営する機関・団体の交流会(忘年会)を支援します。

【3】街づくり

(1) 「防災部会」の活性化

(2) バリアフリー化の推進

(3) 地域福祉の推進

(4) 「高槻ふれあいキャンペーン」を実施します。

(5) 情報保障の取り組み

(6) 自転車マナーの推進

(7) 「高槻市総合交通戦略検討協議会」(「福祉循環バス」の推進)

【4】人権・教育・児童

- (1) 人権擁護・反差別の活動
- (2) 「高槻市人権まちづくり協会」との連携
- (3) 高槻市虐待防止センターの有効的な運営を求めます。
- (4) 障害者差別解消法の実施に向けて、「高槻市障害者差別解消支援地域協議会」の設置を求める取り組みを行ないます。(前出)
- (4) 障害児教育の充実を図ります。
- (5) 児童通所支援の拡充に向けて、保護者・支援者に対する情報提供の場を設定します。今年度は児童支援の「事業所説明会」の実施を図ります。

【5】雇用分野

- (1) 「喫茶たんぼぼ」の運営強化
- (2) 「働く障害者の集い」を開催し、就労の定着を支援します。
- (3) 障害者の雇用を進めます。
- (4) 「高槻市庁内職場実習」の拡大
- (5) 「高槻市障がい者就業・生活支援センター」、「たかつき・しまもと就労支援ネットワーク」との連携を強化します。
- (6) 「就労雇用問題懇談会」に参画し、雇用促進講演会・出張相談会の開催に協力します。

【6】社会参加・地域交流

- (1) 「障害者スポーツ振興懇話会」に参画し、スポーツ活動の充実を訴えます。
- (2) 以下の活動に積極的に参加し、ボランティア団体や労働組合などと協力関係を強め、共に生きる地域づくりを目指します。
- (3) 支援学校卒業生の進路が保障されるよう、社会資源の整備を求めて、行政・事業者との協議を進めます。
- (4) 当事者のニーズを反映した高齢期の支援が行われるよう、行政との協議を進めます。(介護保険と障がい福祉サービスの併用利用等)

2013年度 決算案(2013年4月1日～2014年3月31日)

2014年度 予算案(2014年4月1日～2015年3月31日)

収入の部				支出の部			
項目	2013年度決算	2014年度予算	摘要	項目	2013年度決算	2014年度予算	摘要
前年度繰越金	464,828	295,161		活動費	150,235	150,000	運動会、総会
団体分担金	400,000	400,000		情宣費	63,420	100,000	新聞、会費、広告
団体事務所通信連絡費	80,000	80,000		通信費	221,601	220,000	電話、ネット
雑収入	124,980	203,000	繰入収入	事務用品費	127,183	260,000	PC、机、トナー、用紙
事業委託費	0	0	別会計へ	慶弔費	158,443	100,000	供花、香典等
定期預金利息	1,235	0		雑費	55,000	10,000	会費
合計	1,071,043	978,161		小計	775,882	840,000	
				繰越金	295,161	138,161	
				合計	1,071,043	978,161	

2014年度役員構成 (任期2年 2013年6月～2015年6月)

会長	篠原信次郎
副会長	水谷正美・金丸恒雄・藤井啓義・硯啓
総務	硯啓(兼務)・横貝功・中峯實秋・広川光夫
事務局長	山田義昭
事務局次長	斉藤勇・西村正・堀切公代・佐藤智昭
書記・庶務	伊藤義治・徳島伊津子・和田光子・清水梅乃
会計	斉藤勇(兼務)・硯啓(兼務)・山田義昭(兼務)
監査	生駒嘉之・藤田務・倉町公之
喫茶たんぼぼ運営委員会委員長	佐藤智昭(兼務)
名誉会長	川人義明
相談役	大野芳雄・山本芳康・寺田俊彦